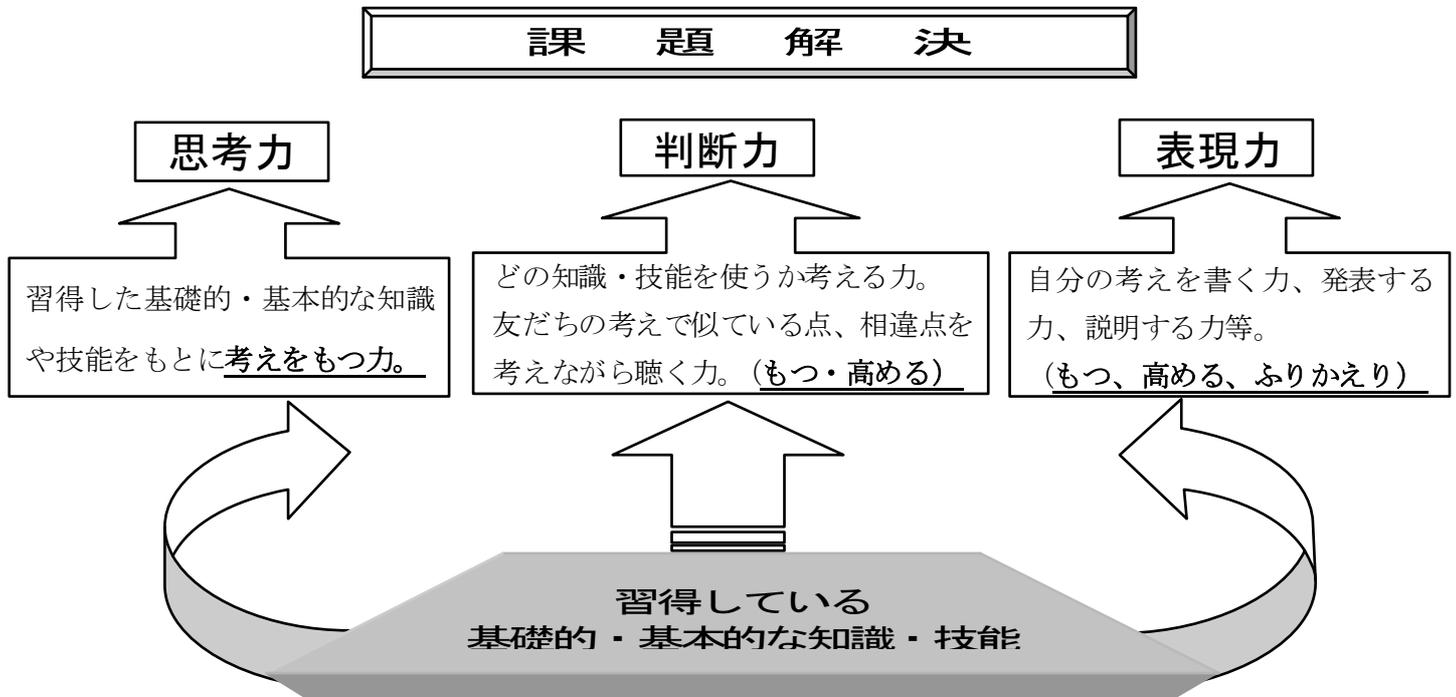


## A-4 活用力

### <活用力と研究の結びつき>

「活用力」とは、

知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等



#### ①児童も教師も授業の流れを意識する

##### つかむ

- ・児童が見通しを持つことができ、解決意欲を持てるような問題を設定する。
- ・話し合いのできる問題を設定する。

##### 考えをもつ

- ・自分の考えを持つ時間をかならず取る。
- ・既習の知識を活用できるような支援をする。  
導入（単元や本時）で前学年や前時の学習のふり返りの時間をとる。  
既習したことについては、教室掲示をし、いつでも児童の目にとまるようにする。

##### 高め合う

- ・児童が自分の考えや思いを素直に出せるような人間関係・学級作りをする。（ほめる・励ます）
- ・聴く人に分かりやすい話し方ができるようにする。（短く区切りながら話す）
- ・自分の考えと友達の考えを比べながら聴き、心からの反応ができるようにする。
- ・切り返しの発問で深めていけるようにする。

##### まとめる

- ・ふり返りを書く時間を持つ。

## ②習得したことを生かしていけるようにするために

<国語> 説明文では、段落と文番号をつけることで、話す子も聴く子も文に目が向くようにする。  
 主語・述語、接続語、指示語を意識して読み進められる力をつける。  
 物語文では、登場人物の行動や会話から考えられるようにする。  
 理科や社会にも結びつくように文を書く力をつける。

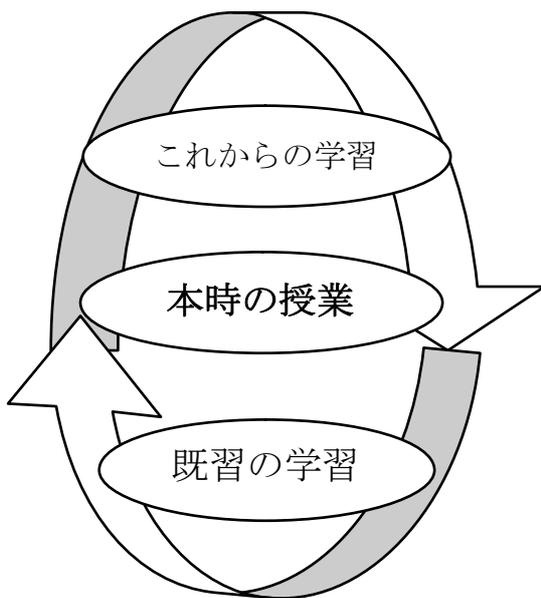
<算数> 算数的活動を取り入れる。(図・表・言葉・式など)  
 簡単にできないか考える。きまり・規則性を考える。  
 今考えたことは、他の問題でもできるかを考える。

### <全教科>

習得したことがわかるように、教室掲示をしていく。

考えを表現することができるようになるために

- ・ わかりやすく理由を述べるができるように、話し方の指導
- ・ どの既習事項を使ったかを話す指導



基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身につけること  
 身につけた知識及び技能を活用する

### <全校での取り組み>

#### 問題解決学習の過程で

- ★考えをもつ段階・・・自分の考えを書く時間を持つ。  
 操作活動・線を引く・文で書く  
 図でかく・説明を書く 等
- ★高める段階・・・自分の考えを話したり、説明したりする時間を持つ。
- ★まとめる段階・・・文や記号などでふり返りを書く。  
 授業でわかったことを書く  
 友達の考えから分かったことを書く  
 課題について分かったことを書く 等

## ③学習環境づくり

体験を通して、楽しみながら思考力がつくように「わくわく学習コーナー」を設置する。

- |        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 算数コーナー | ・・・ 輪投げ、色板、パターンブロック、タングラム、キューブなど |
| 社会コーナー | ・・・ 日本地図パズル                      |